



事業内容

株式会社コスモテック南日本事業部は、種子島・南種子町にある、「種子島宇宙センター」の電気・空調・給水等のライフライン設備やロケット打上げ設備の補修・維持・管理、高圧ガス設備や発電所のメンテナンスなど、ロケット打上げに必要な設備の保全・運用をしています。



●学生サポーター的魅力ポイント●

種子島から宇宙へ。
緻密な技術、大きな情熱、地元愛
を感じ、夢を持って働ける企業

株式会社コスモテック南日本事業部は、日本最大のロケット発射場である種子島宇宙センターを支えています。宇宙開発と共に半世紀。「宇宙のまち」種子島で育ち、スタッフの多くは地元出身者です。高い技術力で日本の宇宙開発の発展を支えています。



入社7年目
山野 友楓さん

仕事内容とやりがい

推進設備課の液・ガス係に所属しています。液・ガス係は、種子島宇宙センター内における高圧ガス設備の保全運用作業を主に行います。打ち上げ前のロケットを目の前にしたとき、実際に自分も宇宙開発に携わっていると実感できてやりがいを感じるそうです。

休日の過ごし方

●サーフィンでリフレッシュ！

休日にはサーフィンや釣りを楽しむことができるなど、豊かな自然の中で暮らす、種子島での生活を楽しんでいます。

入社したきっかけ

●きっかけは「下町ロケット」

山野さんは高校まで鹿児島市内で育ちました。宇宙に関する仕事に興味を持ったのはドラマ「下町ロケット」を見たことがきっかけだったそうです。業界研究をする中でコスモテックが種子島でのロケット打ち上げを支えていることを知り、その一員として働きたいと思ったと話します。





入社11年目
河川 丈さん

仕事内容とやりがい

推進設備課設備係に所属しています。設備係は宇宙センター内の設備保全などを行います。種子島宇宙センターは海に面しており、世界で最も美しいロケット発射場と呼ばれています。ですがその反面、塩害に対処する維持管理が大変だそうです。ロケットの打ち上げは国家的プロジェクトで、その仕事に関われていることに、誇りと実感をとても感じると話します。

親子2代、地元での働きやすさ

種子島出身で、母親も以前コスモテックで働いていたという河川さん。高校卒業後の進路を考えた際にコスモテックが1番に思い浮かんだとのこと。河川さんにとって地元種子島はいい意味で本土との距離があり、都会の喧騒と離れて生活できる場所だと話します。ロケットの打ち上げに向けて社員一丸となり、プライドをもって仕事を行っていることも魅力だと話していました。



入社30年目
峯山 博光さん

仕事内容

推進設備課の課長として部署の管理、契約に関する調整、事務処理などを担当しています。

どのような人と働きたいか

ロケットに興味を持ち、ロケット関連の仕事に携わりたいと考えている人と一緒に働きたいと考えています。特に情熱を持ち、チャレンジ精神がある人を歓迎しています。

会社の強み

コスモテックの強みは、地元に根ざした企業であることだと話します。種子島宇宙センターでは地上設備の保全や運用、そして法定点検などの業務を半世紀以上担当しています。これまでの経験と技術を生かし、安全で確実な作業を行うことを目指しています。

半世紀の節目をむかえて

コスモテックは2025年で設立から50年を迎えました。種子島出身の峯山さんは、幼いころからロケットの打ち上げを身近に感じてきました。幼少期から地元にある企業が今では日本の宇宙産業を支えるまでに成長し、業務の幅が大きく広がっています。今後も「ロケットの打ち上げにはコスモテックが必要」と言われる企業を目指し、人材育成にも力を入れていきたいそうです。

学生へのコメント



コスモテックでは挑戦したい、成長したいという気持ちを大切にしています。知識や経験よりも、まずは前向きな姿勢を評価しています。一緒に学びあいながら日本の宇宙開発を支え、ともに未来をつくっていきませんか。宇宙に関連する仕事と聞いて少しでもワクワクを感じていただければ幸いです。

コスモテック 南日本事業部 邊田 誠さん



取材後の感想



長野 比呂さん

安全と精度の高さにこだわりを持ちながら、ロケットの打ち上げを支えているところに魅力を感じました。また、社員同士の温かい雰囲気と、仕事への情熱が種子島のコミュニティとも強く関わり、ロケット発射の成功にも結びついていると思いました。



梶田 和伸さん

取材を通し、一ミリのズレも許されない丁寧な仕事を行っており、一つ一つの作業に誠実に向きあう姿が印象的でした。また宇宙を支えているという誇りと責任を持って仕事に取り組む姿勢から、この会社が長年にわたり信頼されてきた理由が伝わり魅力を感じました。